

基本方針別総合評価一覧意見書（案）【令和6年度】

基本方針	意見
1	<p>文化芸術活動の活性化と担い手の発掘・育成・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭や野外彫刻展といった中核事業が安定的に運営され、市民の創作・発表の場として定着している。また、郷土文化の継承に関する事業も継続的に実施されている。 基本方針1は事業数が最も多く、とりわけ市民参加型の文化芸術活動をテーマとした事業が広範に展開されており、厚木市の文化芸術振興への取組姿勢が評価できる。 参加実績や質的向上などの成果（活性化）は評価できるものの、基本方針1に掲げる「後進の育成」につながっているのかどうか、振り返りと課題の整理を行い、次なる施策へつなげる必要がある。 担い手の発掘・育成・支援の観点では、多くの団体が担い手不足という共通の構造的課題を抱えており、活動の持続可能性に懸念がある。個別の事業支援に留まらず、分野横断的な次世代の担い手育成プログラムや、団体運営のノウハウを支援するような、より長期的・戦略的な視点での施策の強化が望まれる。
2	<p>文化芸術活動を推進するための環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動の拠点づくりの推進、文化芸術活動に対する様々な支援については、目標値に対する達成率が高く、市民活動の拠点として関連施設が安定的に利用できる環境が整備され、文化芸術活動のための施策がしっかりと進められていることが分かる。 情報発信については、広報誌やウェブサイトを通じて計画通り行われている。幅広い世代への文化芸術活動への参加や活動の要となる人材の発掘に寄与するため、多様化する情報メディアを効果的に活用するなど、更なる強化を期待したい。 メディアやSNSなどを積極的に活用し、引き続き、実施されている事業の魅力についても積極的な情報発信に期待したい。

3	市民協働による文化芸術活動を通したまちづくりの推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民誰もが参加できる事業も多く実施され、市民協働による文化芸術活動が推進されていると思われる。また、こうした市民協働の事業が地域のにぎわい創出にも貢献している。 ・意欲ある市民・団体との協働関係が構築できている点は評価するが、協働関係が限定的にならないよう、次のステップとして、これまで関わりのなかった市民層をいかに巻き込むかが重要である。 ・「運営」という負担の大きい協働だけでなく、単発で関わるボランティア制度や、企画アイデアを気軽に提案できる仕組みを設けるなど、市民がより気軽に参加できる「協働の入口」を多様化させる施策が必要である。 ・評価が低い事業もあるため、市民相互のニーズに合った事業内容や実施時期などの検討を期待したい。
4	未来を担う子どもたちの夢と希望がかなえられる文化芸術活動の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少の頃から高い芸術作品に触れることが、子どもの高い感性や表現力、創造性を養うので、身近に、かつ頻繁に触れられる機会を提供することが大事である。 ・子どもたちに本物の文化芸術を届けるという方針の目的は概ね達成されているが、単発の鑑賞機会の提供にとどまらないよう、体系的なプログラムが実施されることを期待したい。 ・事業数は少ないが達成率が高く着実に成果をあげている。今後、未来を担う子どもたちのための事業が増えていくことを期待する。